



発行 ● 狛江市政策室  
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5  
☎ 3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イダ3階 A号  
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

2021 令和3年 6

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市政策室へ

## コロナ禍に組織挙げて取り組む

### 公益社団法人 狛江市医師会

#### 休日応急診療を開設

公益社団法人狛江市医師会(片山隆司会長、元和泉2-35-1あいとぴあセンター内☎3488-2267)は市内で開業する医師が加入し、行政や福祉団体と連携して市民の健康を守るために休日応急診療所など様々な活動を行っている。とりわけ、現在は新型コロナウイルス感染症に対応してPCR検査センターの運営やワクチンの集団接種に組織を挙げて取り組んでいる。

同会は昭和21年に北多摩医師会狛江支部として発足、51年に社団法人、平成25年に公益社団法人になった。現在は48医療機関の61人の医師が所属している。当初は会員の親睦と情報交流などが主な活動だったが、次第に行政と連携して予防接種や輪番制で休日急患診療などを行うようになったという。平成8年のあいとぴあセンターの開館に伴って同センター内に休日応急診療所を開設、会員が内科系と外科系に分かれ交代で日曜・祝日・年末年始の昼間に診療を行っている。現在はコロナ禍に対



上和泉地域センターのコロナワクチン接種会場

応して一般診療は午前、発熱などの場合は午後のみ予約診療を行っている。

また、東京慈恵会医科大学附属第三病院内で平日の準夜(午後7時~10時)に狛江市と調布市の医師会、第三病院の小児科専門医が交代で診療する「平日夜間小児救急」を実施している。さらに、毎月1回の市民健康相談、四種混合ワクチンやインフルエンザなどの各種予防接種、国民健康保険加入者の特定健診・特定保健指導、専門医が講演する「医師会市民講座」も行っている。地域医療と高齢化社会に対応するために平成9年から看護師が患者宅を訪問する「訪問看護ステーション」を多摩地区の他の自治体に先がけてスタートさせた。会員向けに様々な専門医を招いた学術勉強会も定期的に開いている。

#### PCR検査センターに協力

昨年からは新型コロナウ

イルス感染症に対応した活動に地域医療を担う立場から積極的に取り組んでいる。市の新型コロナウイルス感染症対策本部の分科会・専門家協議会に参加するほか、独自の対策会議を定期的開催したり、都内全域の医師会と連携して情報の共有を図っている。

昨年8月から開設された市のPCR検査センターは現在週2回稼働しており、同会所属の25人の医師が交代で看護師、事務員とともに活動している。さらに医師会所属の23医療機関が発熱外来を行っており、このうち18カ所がPCR検査や抗原検査を行っている。

#### ワクチン接種を担当

5月19日頃から上和泉地域センター、21日頃から岩



▷3◁

戸児童センターで始まった高齢者対象の新型コロナワクチン接種では、上和泉地域センターの週4回接種のうち水・木・日曜の3回を担当、1日当たり医師6人、看護師12人を派遣している。ワクチン接種には会員と市内在住の医師など合わせて55人が参加している。同会では実施を前に会場での説明会の開催や、市内の医療従事者のワクチン接種によるシミュレーションを行って本番に備えた。



コロナワクチンの接種

片山会長は「PCR検査センターとワクチン接種が並行するため、負担がかかるが、市と協力して全力を挙げて取り組みたい。狛江市は行政と医師会が互いに緊密に連携しているので、小回りがきいたきめ細かい対応ができています。これからも市民が安心して健康な生活が送れるような活動に取り組んでいきたい」と話している。

## 地域の歯の健康を守る事業を展開

### 一般社団法人 狛江市歯科医師会

#### 22の医療機関が所属

一般社団法人狛江市歯科医師会(塩谷達昭会長、元和泉2-35-1あいとぴあセンター内☎3488-7711)は市内の22の医療機関が所属、地域の歯の健康を守るための活動を展開している。

同会は昭和18年に東京都歯科医師会立川支部として活動がスタート、28年に北多摩歯科医師会の下部組織として調布、神代、狛江で支部を結成、調布狛江支部となった。55年に北多摩歯科医師会狛江支部となり、56年に東京都狛江市

歯科医師会として発足。平成8年にあいとぴあセンター内に事務所が移転。23年に一般社団法人になった。

#### 健診や講座など実施

8年からあいとぴあセンターに休日歯科応急診療所を開設、会員25人が交代で運営を担当している。

地域の歯の健康づくりのために健診事業、高齢者支援診療事業、地域包括支援事業を推進している。18年から始めた高齢者支援は市内の高齢者施設で入所者の無料健診と往診を行うほか、市内の通院困難な65歳以

上の高齢者を対象に在宅訪問診療を行っている。地域包括支援事業では高齢者を対象とした健口講座、口腔ケア講座を年2~3回、あいとぴあセンターや防災センターで開いている。

健診事業は、妊産婦、1歳6ヶ月児、3歳児を対象にした歯科健康診査に加え、乳幼児定期歯科健康診査、障がい者健診、市内の保育園、小・中学校、高校などで健診を実施。さらに5歳児歯科健康教室などを催している。

また、無料歯科相談を年2回、あいとぴあセンターで行ったり、歯科健康をテ



休日歯科応急診療所

マにしたフォーラムをエコルマホールで開いている。

新型コロナウイルス感染症対策に積極的に取り組み、市の専門家協議会などに参加している。また、口腔ケアがウイルスの感染予防に効果があるとして、マスクの着用に加えて、帰宅時や起床、就寝時のうがい、ブラッシングを行って、口腔や咽頭部の粘膜からの感染を防ぐよう呼びかけている。

## 薬を通して市民の健康をサポート

### 一般社団法人 狛江市薬剤師会

#### 休日診療の薬局運営

一般社団法人狛江市薬剤師会(山村拓郎会長、元和泉2-35-1あいとぴあセンター内☎5497-2501)は現在23カ所の保険薬局などに勤める28人が所属し、休日応急診療所、休日歯科応急診療所の薬局の運営をはじめ様々な活動を行っている。また、新型コロナウイルスの高齢者向けワクチン集団接種にも協力している。

同会は薬剤師の親睦などを主な目的とした任意団体として活動してきたが、次第に活動の幅を広げ、平成25

年に一般社団法人になった。

#### ワクチン接種に参加

8年からあいとぴあセンターの休日診療薬局の運営を会員の薬剤師が交代で担当している。市民向けには専門家を招いた市民健康講座を年1回開催するほか、講演と薬の相談会、薬物乱用防止活動なども行っている。26年度から子どもたちに薬剤師の仕事への理解を深めてもらおうと休日診療薬局で夏休みに薬剤師体験会を催している。

力を入れているのが、薬剤師の在宅訪問で、医師の

処方箋に従って調剤した薬を患者宅へ届けて薬の効用や飲み方などを説明するとともに患者の体調などを確認し、



コロナワクチンの注射器への充填作業

医師やケアマネージャーなどに結果を伝える。また、かかりつけ薬剤師・薬局の普及にも努めており、健康や薬について気軽に相談できる環境づくりを目指している。

関東地区の薬学部や薬科大学から実務実習生を受け入れ、公立小・中学校の学校薬剤師の推薦、新薬や病気についての会員の勉強会なども行っている。

新型コロナウイルス感染症に関しては市の対策本部の分科会・専門家協議会

に参加するほか、コロナワクチンの集団接種では注射器の充填作業に全面的に協力。事前に入念な準備を進め、会員の研修を行い、会員のほか、市内のドラッグストアや市内在住の薬剤師の応援も得て75人が週3回、1日当たり10人が交代で上和泉地域センターで作業している。

同会では「薬を通して市民の健康をサポートできるよう活動を続けていきたい」と話している。